

# 2012

日本都市計画学会中国四国支部  
学術講演会

テーマ /

## 都市戦略としての「デザイン都市・神戸」 の取り組みから広島都市戦略を考える

# 12/1

SAT

17:00 - 19:30

会場 / 広島修道大学 7号館学術ホール  
(広島市安佐南区大塚東1-1-1)

### 開催趣旨 /

人口減少社会の到来、産業の空洞化といった社会経済情勢が変化するなかで、右肩上がりの経済成長や人口増加を前提とした都市戦略は転換を迫られている。また、ITの発達などにより、都市はグローバルな競争に晒されている。地球規模で展開される都市間競争下において、より魅力的でクリエイティブな人々や企業を世界中から惹きつける、いわば都市の“磁力”こそが「都市の総合力」と言われている。

このような情勢下において、神戸市は、「住み続けたいまち、訪れたいまち、そして、継続的に発展するまち」を目指して、神戸の今と未来をデザインしていくことで、人間らしいしあわせを実感できる創造都市「デザイン都市・神戸」を、市民とともに推進している。これは、あらためて神戸の持つ資源や魅力を見つめなおした結果、「まちなみ」、「くらしの文化」、「ものづくりの技術」という3つの“神戸らしさ”があり、これらは、開港以来、外来文化を取り入れることによって育まれてきた都市としての貴重な資源や魅力であり、創造都市戦略の「鍵」となることに気づいたからとしている。これらの“神戸らしさ”との関連性や、おしゃれで洗練されたまちのイメージを踏まえて、神戸の新たな都市戦略として、「デザイン」という視点がふさわしいと考えて、新たな都市づくりを進めている。今年の10月にオープンしたデザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO はその核となる施設である。今回、「デザイン都市・神戸」の実現化に向け、各部局で取り組んでいる様々な施策を横断的に統括する「統括監」という役割を担われている、齊木崇人・神戸芸術工科大学学長をお迎えして、この新たな都市戦略に取り組んでいる神戸市の実情と将来についてお話をうかがう。

さらに、広島市の将来のまちづくりの最新の取組・計画について、広島市都市整備局都市計画担当部長 新上敏彦氏に話題提供いただき、広島都市戦略について、共に考える機会としたい。

主催 / (公益社団) 日本都市計画学会中国四国支部

後援 / 広島市、(公益社団) 土木学会中国支部、

(一般社団) 日本建築学会中国支部

### 招待講演者 /



神戸芸術工科大学 学長

さいき たかひと

齊木 崇人 先生

話題提供者 / 広島市都市整備局都市計画担当部長  
新上 敏彦 氏

### プログラム /

- 17:00 - **開会挨拶**  
学術委員会委員長 三浦 浩之  
(広島修道大学人間環境学部学部長・教授)
- 17:10 - **講演 「デザイン都市・神戸の取り組み」**  
神戸芸術工科大学学長・神戸市統括監\*  
齊木 崇人 先生  
\* 神戸市統括監(「デザイン都市・神戸」のさらなる推進のため、各部局で行っている施策のうち「デザイン都市・神戸」に位置付けられる事業について、横断的に統括する役割を担う)
- 18:10 - **休憩**
- 18:20 - **話題提供 「広島市・将来のまちづくり」**  
広島市 都市整備局 都市計画担当部長  
新上 敏彦 氏
- 19:00 - **ディスカッション**
- 19:20 - **閉会挨拶**  
学術委員会副委員長 篠部 裕  
(呉工業高等専門学校教授)

### 問合せ・申込先 /

「氏名・所属機関・連絡先 (e-mail、電話番号)」を下記宛に  
電子メールにて、2012年11月24日(土)までにご連絡ください

広島修道大学 人間環境学部 三浦浩之宛  
e-mail / hmiura@shudo-u.ac.jp